

まちづくり構想

定住仕組みづくりが必要では？



秋永 安次 議員

答

若者を招き入れる仕組みを構築する

今後は多様な若者を地域に招き入れ、地域を支える人材の確保と仕組みの構築を図っていかねばなりません。

「自然との共生」、「食育と健康・医療」、「心を育む教育」を中心に、独自の産業を発展させていくことにより、定住人口の維持・増加と持続的な地域経済の発展に結びつけることが求められていると思われる、以下の質問を行う。

答 政策監

人口の自然増や社会増を考慮した定住仕組みづくりが必要ではないか。

問

人口の自然増や社会増を考慮した定住仕組みづくりが必要ではないか。

「住宅確保支援」、「就労・起業支援」、「子育て環境の向上」、そして、定住相談や集落等の課題解決と連動した「定住促進施策」を組み合わせ、推進を図ります。

市固有の地域資源を活かした6次産業の育成にかかる現状と今後の進め方は。

答 政策監

市内の女性農業者等を対象に6次産業化となる起業や特産品づくりの担い手育成を行っております。また、市内産木材について、主に間伐材などが丸太材として流通しています。今後、木材加工により

問

市固有の地域資源を活かした6次産業の育成にかかる現状と今後の進め方は。

付加価値を高めるとともに、販路の開拓や流通体制の確立が必要であると考えています。

問

山林や農地等、生産者の減少からくる適切な保全管理を継続する仕組みづくりが必要ではないか。

答 政策監

保全管理や施設の長寿命化等の取り組みに対し支援



山林作業での災害ゼロを目指して 間伐研修会



現場での巡回パトロール (写真提供：高島市森林組合)

答 政策監

備方針は。

問

今後の社会基盤(道路、橋、河川等)の整備方針は。

を行い、持続的な農村経営を図ります。また、森林業関係者との連携を図り、林業施業の集約化等、安定的な林業経営を図ります。

道路は、社会資本整備補助金等を効率的に活用し計画的に整備を進めます。橋梁は、橋梁長寿命化計画に基づき、施設の長寿命化や耐震補強を計画的に行います。

一級河川は、近々策定される湖西圏域河川整備計画に基づき整備が進められます。また、普通河川は、身近な河川整備事業として将来的に整備を行いたいと考えています。